

平成 29 年度

第6回（9月）教育委員会定例会会議録

日 時：平成 29 年 9 月 25 日(月) 15 時 00 分～17 時 00 分

場 所：村民センター小会議室

出席者：教育長 清水 閣成

委 員 三澤 久夫・清水 道直・林 百代・出羽澤和子

事務局：教育次長 伊藤 弘美

書 記：百瀬 亜紀

以上 7 名

1 開 会

2 教育長あいさつ

9 月、実りの秋となりました。先日行われた運動会は台風 18 号の影響により、短縮となりましたが、委員の皆様、こども達の活躍はいかがでしたでしょうか。中学校では、今週金土と若竹祭・小学校では修学旅行が①10 月中旬（南小 18～20、南部小 19～20）に予定されております。学習面・学校生活が「笑む（花が開く・果実が熟す）」事を願っております。

9 月の定例議会でも答弁の中に含ませていただきましたが、教育長として 1 年が過ぎようとしています。「何をやっているんだろう。これで良いのか？」自問の日々であります。唯、委員の皆様のお力により教育委員会が動いてきている。このことは強く思う所であります。

林百代委員さんの再任が、9 月定例議会で承認され、10 月 2 日に村長より辞令が渡される予定です。改めて、臨時の教育委員会は持ちませんが、今後ともよろしく願いたします。

3 報告・確認事項

(1) 南箕輪村いじめ防止基本方針について

<教育長>

8 月の定例委員会で「南箕輪村いじめ防止基本方針（案）」の概要版についてお示ししました。今回、内容について提案いたします（端的に説明）。本委員会で確定していくことではなく、ご検討していただき、今後協議を深めたいと考えます。

<三澤職務代理>

・策定に向けた今後の方向を確認したい。

<教育長>

・年度内に策定したい。総合教育会議で活用していきたい。

(2) 新学習指導要領に向けて

<教育長>

- 幼稚園教育要領、小・中学校学習指導用要領等改訂のポイントについて説明及び確認。
- 以上のポイントを押さえながら教育委員会として「次世代の学校・地域」の創成に向けた具体的施策について考えたい。
 - ◇地域と学校の連携・協働に向けた方向について
 - CS の推進加速
 - ⇒信州型コミュニティスクールの推進・加速
 - 南箕輪小 29 年度立上げ 3 校の信州型 CS の充実
 - 地域学校協働活動
 - 生涯学習
 - 放課後子ども教室・家庭教育支援 信州子どもカフェ（子どもの居場所づくり）
 - ◇学校の組織運営の改革
 - 専門性に基づくチーム体制の構築
 - ⇒村費職員 学校教育専門員
 - 地域が学校のパートナーとして子どもの教育に関わる
 - ⇒地域コーディネーターと地域連携担当教員の配置
 - ⇒教員が子どもと向き合う時間の確保
 - ◇教員制度の一体改革
 - 地域と連携・協働する教員の養成・研修
 - ⇒教員を目指す学生の放課後子ども教室、土曜学習等への参画
 - 中学校放課後学習 放課後子ども教室（再掲）
 - ⇒地域課題を大事にしたアクティブ・ラーニングの視点に立った学びや ICT を活用した学びの推進
- ICT 活用に向けた環境整備 ICT 支援員
- 外国語・英語科の時間増への対応
- 夏休み等長期休業との関係 移行期間・完全実施
- 小中連携における外国語・英語科支援員（教員免許：英語、教員経験）
- 職員の勤務時間縮減 部活動指導員

以上の点を踏まえながら、ここはどうだ、このことについて検討が必要等ご意見をお願いしたい。

<清水委員>

小学校の先生方は英語を教えることについては、大学等で英語は履修してきているが、教えることについての教材研究等はしてきていない。自分で授業を組み立てていく力を付けないといけない。研修会はやっているが、今指導している教科とは違う感覚を持っているのではないか。先生方のスキルアップのためにも、専門的な“英語”の支援員の配置が望ましい。ALT が入るが、担任が算数や国語と同じように指導できる力を付ける必要がある。

<教育長>

今のご意見を大事にするとともに、小中の先生方が主体的に会議を持ち、移行・完全実施に向け動いているので ALT 先にありき、でなく会の意向を（教委と共有しながら）大事したい。

<三澤職務代理>

今まで、各学校への村費の配置は生徒指導面を主として考えてきたが、教育課程に関わる配置を考えていかなければならない。総合教育会議で村長も教育を大事に考えたい意向をもっているなので、是非、村費で配置を考えたい。また、ICTの活用についても、子どもたちが活用できる環境にしていかなければならない。予算付けが必要。

<教育次長>

ICT 活用に関しては、環境設定に関し電波の状況で広域の絡みもあると聞いている。課題である。

<三澤職務代理>

IPAD を放課後学習で自学自習の面から活用できるとよい。

<清水委員>

中学校の教室のある TV は小さい。電子黒板を整える方向を考えたい。

<教育長>

一斉に換えていくことは無理。計画的に実績を重ねて整えていく方向を考えたい。小学校は支援級に IPAD を整えていく方向。支援員について英語を優先し、ICT は環境を整えていく中で配置していく方向か。

<教育長>

部活動指導員と“わくわくクラブ”の在り方についても検討課題。

<出羽澤委員>

部活＝わくわくクラブとなっている。職員の勤務時間縮減との関係においては課題があると考えます。

<教育長>

勤務時間縮減については、職員の「時間についての意識」も関係する。学校として意識を高めていく必要もあるのではないかと。

静岡県の吉田町では夏休みを 16 日、授業日数 220 日を次年度から予定している。可能ならば教育委員会として時間のマネジメントとして参考になると思い、視察したい。

<フリーで意見交換>

日帰りで行くのも 1 案。夏休みを短くすることには抵抗ありと思う。春休みが長野県は長い。卒業式を終えた後 1・2 年は授業をやるのはどうか。南箕輪だけ実施という訳にはいかないのでは。

<教育長>

いろいろな角度から、ご意見等いただきました。吉田町は行くことが可能でしたら、行く方向とします。今後も新学習指導要領についても話題にしていきたいと考えます。お考えのこと等お伝えしていただきたい。

(3) 村議会9月定例会の報告について

<教育次長>

資料にもとづき、報告がなされた。

(4) Jアラート発令時の対応について

<教育次長>

資料にもとづき、報告がなされた。

(5) 児童・生徒数について

<教育長>

資料にもとづき、報告がなされた。

(6) 事故報告

<教育長>

資料にもとづき、報告がなされた。

(7) 各委員から（課題、希望）（口頭にて）

<三澤職務代理>

こども館で「運営委員会的な組織（関係部署・民生児童委員・地域の方・保・小・中等）」を立ち上げたらどうか。

<清水委員（こども館長）より関連して>

児童館は運営委員会を整えなければならない。こども館に関しては、その関連を含め来年あたり設ける方向を検討したい。

<出羽澤委員>

県内の中学校女子バレー部についての情報提供。

<清水委員>

南部小学校の放課後児童クラブの場所が狭い。今の人数ならぎりぎりであるが、今後を考え検討していく必要がある。こども館長として、子育て支援課と相談していきたい。

<林委員>

南部小学校入口のトンネル入り口に設置してある歩道を分離するポールが数本破損している。こども・地域の方の安心安全にとって大事なので修理が必要。

<関連して教育次長>

建設水道課に連絡し、対応していく。

(8) 9月事業報告・10月事業計画について

<教育次長>

資料にもとづき、報告がなされた。

(9) 10月定例会日程について

10月23日（月）15：00 予定

(10) その他

① 平成29年度長野県女性教育委員連絡協議会中南信ブロック研修会について

<教育次長>

資料にもとづき、報告がなされた。

以上